

令和7年2月20日

唐津地域経済研究所

～ 唐津市短観 令和6年下半期調査結果 ～

- 現況は「悪い」（現況 DI：▲20）、見通しは「悪くなる」（見通し DI：▲27）
- 現況 DI については、回復の兆しが見える業種があるものの、物価及び人件費の高騰の影響により今後の景況感についても引き続き厳しい見方が多数。

■調査概要

調査時期： 令和7年1月

調査方法： インターネットによる回答

調査内容： 前期と比較した今期（令和6年7～12月）の景況感および
今期と比較した次期（令和7年1～6月）の見通し

調査対象： 唐津市内の事業者から抽出した8業種300事業所

回答数： 155（回答率51.7%）

分析： 唐津市

■当期の結果概要

現在の景況感は「良い」13.5%に対し、「悪い」が33.5%と上回り、現況DIは▲20ポイントとなりました。業種別に前回調査の現況と比較すると、マイナス幅が横ばいあるいは微減している業種がある一方で、宿泊・観光業では大幅に改善しました。

6か月後の見通しについては「悪くなる」が36.8%、「変わらない」が53.5%と引き続き景況感は悪い状態が続くもしくはさらに悪くなる見通しとなっております。業種別で見ても、建設業及び卸売・小売業において見通しDIが大幅なマイナスとなっています。

天気マークと指標

				
特に好調 50≦DI	好調 25≦DI≦50	普通 0≦DI<25	不調 ▲25≦DI<0	極めて不調 DI<▲25

景況天気図

	全業種	農業	建設業	製造業	宿泊・観光業	卸売・小売業	飲食業	旅客運送・運輸業	その他のサービス業
前期 R6.1～R6.6	 ▲ 28	 ▲ 38	 ▲ 21	 ▲ 46	 ▲ 33	 ▲ 48	 ▲ 11	 33	 ▲ 9
今期 R6.7～R6.12	 ▲ 20	 0	 ▲ 19	 ▲ 29	 30	 ▲ 33	 ▲ 11	 0	 ▲ 29
来期見通し R7.1～R7.6	 ▲ 27	 0	 ▲ 30	 ▲ 18	 0	 ▲ 48	 ▲ 22	 0	 ▲ 32

■当期の結果詳細

	前年調査	前回調査		現在の景況感				現況	6か月後の見通し				見通し
	現況 DI	現況 DI	見通し DI	回答数 (n=)	良い (%)	悪い (%)	変わらない (%)	DI (%ポイント)	回答数 (n=)	良くなる (%)	悪くなる (%)	変わらない (%)	DI (%ポイント)
総合	▲ 17	▲ 28	▲ 13	155	13.5	33.5	52.9	▲ 20	155	9.7	36.8	53.5	▲ 27
①農業	▲ 33	▲ 38	▲ 13	7	28.6	28.6	42.9	0	7	28.6	28.6	42.9	0
②建設業	▲ 18	▲ 21	▲ 3	27	7.4	25.9	66.7	▲ 19	27	7.4	37.0	55.6	▲ 30
③製造業	▲ 28	▲ 46	▲ 15	28	10.7	39.3	50.0	▲ 29	28	10.7	28.6	60.7	▲ 18
④宿泊・観光業	42	▲ 33	▲ 8	10	40.0	10.0	50.0	30	10	20.0	20.0	60.0	0
⑤卸売・小売業	▲ 23	▲ 48	▲ 33	33	3.0	36.4	60.6	▲ 33	33	0.0	48.5	51.5	▲ 48
⑥飲食業	▲ 3	▲ 11	▲ 18	18	27.8	38.9	33.3	▲ 11	18	11.1	33.3	55.6	▲ 22
⑦旅客運送・運輸業	▲ 17	33	33	4	25.0	25.0	50.0	0	4	25.0	25.0	50.0	0
⑧その他のサービス業	▲ 30	▲ 9	▲ 3	28	10.7	39.3	50.0	▲ 29	28	10.7	42.9	46.4	▲ 32

■当期の主なコメント

現在の景況感	良い	物価高は深刻な問題と捉えております。【飲食業】
	悪い	- 燃料費と人件費の予算を考えると DX や環境改善、省人化や高効率化など、諸問題の解決を図る設備投資のスピードが著しく遅くなってしまいます。現在の事業継続のための方針は「生産量（売上）を減らす」が現実的じゃないか？な状況です。【製造業】 - ゼロ金利の際に元々体力が無かった企業に無金利で審査も甘く必要以上に借りたため、返済が始まり金利がかかり始めると一気に業績が悪化し、借りた際よりも深刻な状況で倒産する食品関係の中小企業が 2024 下半期から 2025 年当初に続いている。【製造業】 - お客様のニーズがかわって、家飲みが多くなりなかなか店に足を運んでももらえない。とくに夜の居酒屋が不調である。【飲食業】
	変わらない	- 助成金と補助金を増やしてほしい。コンサル業務の無償提供があれば利用したい。【建設業】 - 大企業の賃上げに中小企業の賃上げがついていけない。新入社員を入れたいが賃金等で見劣りしてしまう。【製造業】 - 店頭価格は上昇しているが、生産者の利益向上に至っていない。資材、水道光熱費も上がり、賃上げを行い利益は下がる一方である。【製造業】 - 電気代高騰の為利益に影響しています。【卸売・小売業】 - 物価高騰と賃上げは中小企業にはきつい。先に賃上げ実施してきた韓国の現状をみたら明らか。だと思います。【飲食業】 - インフルエンザとコロナの影響もあるのか、それと寒さも影響して中央商店街の街中を歩く人がとても少ない【その他のサービス業】

唐津市短観（唐津市短期経済観測調査）とは？

各企業からの調査結果である「良い」「普通」「悪い」の3通りで回答したものを集計して、D I※で表したもの。D Iは「良い」という回答の比率から「悪い」という回答の比率を引いて指数化するため、全調査企業が「良い」と回答すれば100、全ての企業が「悪い」と判断すれば▲100となり、ゼロが景気の拡大縮小の分かれ目の目安となる。

※D I（Diffusion Index）：企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の短観（全国企業短期経済観測調査）などで用いられている。